

ドラフトチャンバーの使用方法

ドラフトチャンバーを使用する手順を説明します。

使用前

次の手順を実行してください。

- 排気ファンのスイッチを入れる。
- 使用する市水バルブを開け、水が出ることを確認する。
- ビーカーなどの器具、ピンセットなど必要なものをドラフトチャンバーに入れる。
- 窒素ガンを使用する場合は、バルブで圧力を調整しておく。
- 使用する薬品が毒劇物等危険性の高いもの場合は、事前にフォトリソセンターに届け出て、使用許可が出たものについてのみ使用できる。実際に使用する場合は、エプロン、フェイスガード、エフテロン手袋を着用する。廃液は別表（実験系廃液の貯留区分）に従い適切に処理する。その他の廃液は各自持ち帰る。

使用中

次の注意事項を守ってください。

- 必要が無い限り扉は約20cm開いた位置で使用する。安全に使用できる風速を確保するために必要である。
- 薬品を片付けるまでドラフトチャンバーを離れないことが望ましい。特に加熱が必要だったり発熱反応を伴ったりする作業の場合は離れてはならない。
- ドラフトチャンバーの排水口に排出する化学物質は最低限に抑えなければならない。このことにくれぐれも留意すること。
- 薬品に長時間浸けておく作業中にドラフトチャンバーを離れるときは、必ず連絡先と実験内容、使用薬品を紙に明記してドラフトチャンバー至近に掲示する。

使用後

次の手順を実行してください。

- 使用した器具はきれいに洗って、デシケータの定められたバスケットに返却する。このときビーカーなどはひっくり返さない。
- ドラフトチャンバーを約50cmの開放状態にまで閉める。
- 市水のバルブを閉める。
- 窒素ガンのバルブを閉める。
- クリークロスを使用したときは、適切に処理する。
- 使用した薬品類は各自持ち帰ること。
- ドラフトチャンバーの前面扉を約30cmの位置にしてから最低1分間はファンを運転し続ける。その後ファンと蛍光灯のスイッチを切る。